

■施工方法

施工上の
ご注意

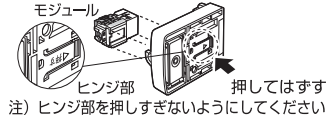
- 1000BASE-T伝送の配線は電力配線と15 cm以上の離隔距離を設けることをおすすめします。電力配線からのノイズにより、まれに伝送不良が発生することがあります。
- インパクトツールは110端子用シングルタイプをご使用ください。適合しないツールを使うと接続端子を損傷することがあります。

適用電線及び適用モジュラプラグ付コード：当社製 LANケーブル CAT6及びモジュラコード CAT6(AWG24の単線及びより線)

①カバーをはずす

スライドさせて
はずす

② モジュールを取りはずす

押しではずす
注) ヒンジ部を押しすぎないようにしてください。

③ キャップをモジュールからはずす

※できるだけ先端を
つまんでください。

キャップのツメ

キャップのツメの先端をつまみながらはずす

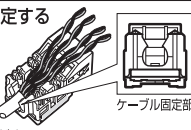
④ ケーブルの外被をむき、モジュールに固定する

外被を50 mm程度むき、外被の先端を「ケーブル固定部」にはめこむ

注1) エコケーブルの場合は、外被が白化しやすいため、ケーブル固定部にあたらないように外被をむいてください。

注2) 心線を傷つけないように外被をむいてください。

注3) ケーブルのクロスセパレータは短く切断してください。



ケーブル固定部

⑤ 心線を溝に挿入する

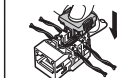
ラベルの表示色に合わせて挿入する

※燃りの中心を、溝の突起に押し当てて広げながら挿入してください。燃りがきつい場合は、少し燃りを戻してください。



⑥ 心線を結線する

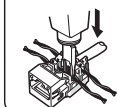
キャップの先端工具を使用する場合



- ① キャップの先端工具で心線を1本ずつ押し込む
- ② 余った線をニッパー等で切断する

キャップの
先端工具

インパクトツールを使用する場合

ブレードの切断刃を
外側にして、心線を
しっかり押し込む
ブレードの切断刃

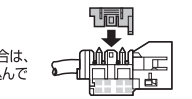
ご注意

このようなブレードの
ツールは使わないで
ください。

⑦ キャップを装着する

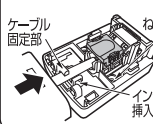
「カチッ」と音がするまで押し込む

注) キャップがしっかりと装着されていない場合は、キャップの先端工具で再度心線を十分に押し込んでください。



⑧ モジュールを取り付けケーブルを固定する

- ① モジュールを「カチッ」と音がするまで押し込む
- ② ケーブルを「ケーブル固定部」に収納する
※必要に応じてケーブルにインシュロックタイを使用できます。
(適用インシュロックタイ：幅2.5 mm～3.5 mm)
※木ねじを使用して木板等に本体を固定することができます。
(適用木ねじ：φ 3.1 mm 長さ10 mm以上)
- ③ カバーをスライドさせて閉じる

ケーブル
固定部

ねじ固定穴

インシュロックタイ
挿入穴

配線器具にも寿命があります。
取付場所や使用状況によって
異なりますが、10年※を超えた
ものは、特に点検が重要です。
※：製品の保証期間ではありません。

Panasonic®

Gigaシリーズ

NR 3171

情報モジュラジャック (CAT6) (露出型1コロ)

5コス

パナソニック株式会社

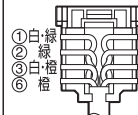
I T F



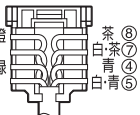
24547441110078

結線図

T568A

① 白・緑
② 緑・橙
③ 白・橙
④ 緑

T568B

茶 ⑧
白・茶 ⑦
青 ④
白・青 ⑥

カラーチップの交換方法

はずし方

カラーチップを押さえながらカバー裏面より指でつまんで押し上げてください。



カバー裏面

はめ方

指で押し込んでください。

カラーチップ (別売)
※NR3511Lほか各色
あります。注) カラーチップは必ず装着した状態で使用してください。
ほこり等がたまり導通不良の原因となります。

取り付けかんたんマグネット付

●マグネットは取りはずしができます。



マグネット

ドライバー

ご注意

1. 本体のマグネットに磁気の影響のおそれがあるものは近づけない
記録内容の消失のおそれがあります。
2. 本体をOAデスク等に取り付けたまますらない
塗装面によってはキズがつくおそれがあります。

CAT6

Panasonic®

Gigaシリーズ

NR 3171

情報モジュラジャック (CAT6) (露出型1コロ)

5コス

パナソニック株式会社

